

事業所名		プチメビ		支援プログラム（参考様式）		作成日		令和6年	12月	17日
法人（事業所）理念		【事業所理念】子どもたちの個性・特性にあった支援を通して、未来の可能性を広げ社会に順応できるよう生きる力を育む								
支援方針		日常生活における基本的動作を習得し、集団生活への適応能力を高め、将来必要とされる社会性を身に付けていく。また、個々の発達の状況を確認し把握したうえで、重度の障害児に対し、丁寧にアプローチし可能な限りの成長を促していく。								
営業時間		放 課 後 9：30 ～ 18：30 学校休業日 8：30 ～ 17：30			送迎実施の有無		あり なし			
		支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	★生活スキル （生活習慣や日常生活・社会生活に必要な技能や習慣の習得、金銭感覚） ★作業活動 （働くということの疑似体験、続けるための体力） ★体験活動 （疑似体験を通した価値観の形成、現実世界や生活への興味関心）								
	運動・感覚	★音楽療法 （身体の動き、感覚、姿勢保持、粗大運動、ボディイメージ、手と目の連動、バランス感覚） ★作業活動 （細かい作業を行うことによる微細運動、姿勢保持） ★感覚遊び （バランス感覚、粗大運動、好きな刺激を受けてリラックス）								
	認知・行動	★音楽療法 （感覚、姿勢の調整、ボディイメージ、利き側、方向性、数の概念、両側運動、抽象概念の形成、日付や曜日の感覚） ★作業活動 （遂行による成功体験） ★感覚遊び （興味関心） ★生活スキル （金銭感覚、数の概念）								
	言語 コミュニケーション	★音楽療法 （タイミングを合わせる、スキンシップ、全体への発表） ★作業活動 （困ったときの訴えや報告）								
	人間関係 社会性	★音楽療法 （共同注意と集団の中での自分、順番を待つ、模倣する） ★生活スキル （順番を待つ、相手と相談して決める、順番を譲る） ★感覚遊び （順番を待つ、我慢する、要求する、交流） ★体験活動 （友達との協力、順番を待つ、譲る、要求する）								
家族支援		・年2～3回の面談で、事業所での様子を共有したり、家庭や他の場面での様子を教えてもらい、相談を受ける。			移行支援		・就学児の受け入れのため、児童発達支援センターとの情報共有。 ・他の関係機関との連携、進路先への情報提供。 ・担当者会議の参加。			
地域支援・地域連携		・地域公共施設サービスを活用 ・学校、相談支援事業所等に様子や情報を報告、情報共有、連携 ・担当者会議の参加			職員の質の向上		年1回以上の外部研修、年3回事業所研修			
主な行事等		8月 プチっ子夏祭り 12月 クリスマス会 9月 メビウス祭り 10月 ハロウィンレク								

